

# 「『亀山っ子』市民宣言」

## 第四次具現化行動計画



令和4年5月

亀山市青少年育成市民会議



# 『亀山っ子』市民宣言 第四次具現化行動計画

## ○はじめに

『亀山っ子』市民宣言』（以下、「市民宣言」という）は、平成20年5月31日に亀山市青少年育成市民会議（以下、「市民会議」という。）の総会で採択されました。市民宣言は、市民レベルで目指す「子ども像」を策定し、家庭や地域をはじめ青少年育成団体が、共通の目標に向けて市民総ぐるみで子どもを育成しようとするもので、大人の行動指針となるものです。

本計画は、市民宣言の具現化に向け、具体的な取り組みを示すとともに、市民会議の各部会と関係団体の実践行動計画となるものです。

## ○取り組みの経緯

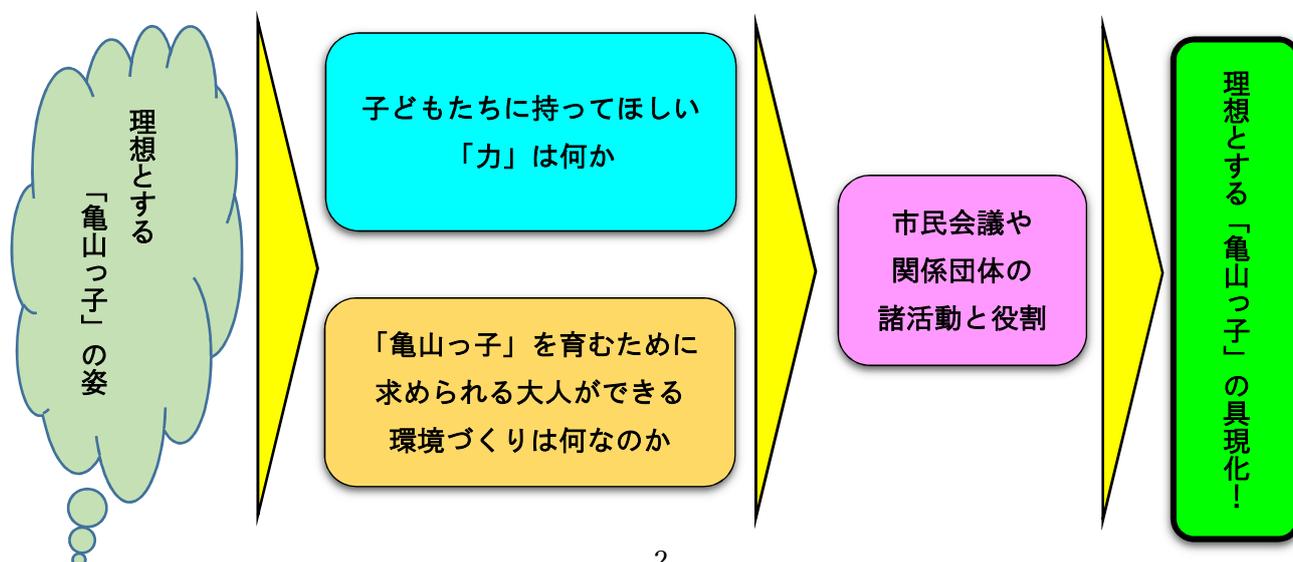
市民会議では、平成20年に市民宣言が策定された後、平成21年度から具現化行動計画を策定し、理想とする「亀山っ子」の実現に向けて取り組んできました。

これまでの取り組みの経緯は、以下のとおりです。

- |               |                         |
|---------------|-------------------------|
| ・市民宣言の策定      | 平成20年5月31日              |
| ・第一次具現化行動計画期間 | 平成21年度～25年度             |
| ・サマーキャンプの実施   | 平成21年度～ ※市民宣言の実践活動として実施 |
| ・第二次具現化行動計画期間 | 平成28年度～30年度             |
| ・第三次具現化行動計画期間 | 令和元年度～令和3年度             |
| ・第四次具現化行動計画期間 | 令和4年度～令和6年度             |

## ○取り組みの流れ

本計画では、子どもたちに持ってほしい「力」は何か、「亀山っ子」を育むために求められる大人ができる環境づくりは何なのか、を市民宣言の項目ごとに示しています。そして、市民会議の4つの部会や関係団体が、それぞれの活動の中でどのような取り組みを行い、どのような役割を持つのかをお互いに認識し、協力して市民宣言の具現化を目指します。



## ○市民会議の各部会と関係団体の役割

市民会議は、市内の関係団体から選出された代議員で構成され、広報部会・育成部会・家庭部会・非行防止部会の4つの部会に分かれて、市民宣言の具現化に向けた取り組みを行っています。

各部会の役割は下記のとおりです。

### ・各部会の役割

広報部会	A-1 広報紙等により市民会議の諸活動を市民に広報すること A-2 青少年に関する情報の発信
育成部会	B-1 青少年の健全な自覚を高めるための諸活動に関すること B-2 子ども会、青少年団体及びグループ活動等に関すること B-3 青少年育成指導者養成等に関すること B-4 体育、文化及びレクリエーションを奨励するための諸活動 B-5 青少年育成に関する施設の設置、整備を促進するための諸活動
家庭部会	C-1 家庭の健全化を図るための諸活動 C-2 青少年の生活指導のあり方、集団活動の促進等の諸活動 C-3 保護を要する児童の福祉を図るための諸活動 C-4 学校教育・社会教育の緊密な連携を図るための諸活動
非行防止部会	D-1 青少年の非行、事故を防止するための諸活動 D-2 社会環境の浄化整備を図るための諸活動

※亀山市青少年育成市民会議規程より

また、行政や学校を含む関係団体も、市民宣言の具現化に向けた様々な取り組みを行っており、市民会議と関係団体が、目指すものを共有し、協力して取り組んでいくことが重要です。

### ・市民宣言が目指すもの

「おはよう」「ありがとう」のいえる子	礼儀正しい言葉づかいや、あいさつのできる子どもが増えているという実感がある
きまりや交通ルールを守る子	家庭のルールや交通ルールを守り、規則正しい生活を送っている子どもが増えているという実感がある
運動や読書に親しむ子	運動や読書に親しんでいる子どもが増えているという実感がある
力をあわせて仕事をする子	地域の行事やボランティア活動に積極的に参加している子どもが増えているという実感がある
人やものを大切にする子	ものを大事にし、人のために行動できる子どもが増えているという実感がある
未来に夢を持ち続ける子	将来の夢について語れる場や語り合う子どもが増えているという実感がある

## ○本計画と SDGs（持続可能な開発目標）の接点について



2015年9月に持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals/以下、SDGs）が国連サミットで全会一致により採択され、より良い世界を目指し、193ある国連加盟国すべてが取り組むべき目標となつてから、6年以上（第四次具現化行動計画 策定時点）が経過しました。その間、SDGsは国際社会のみならず、日本国内においても徐々に広がりを見せており、各種機関が実施している認知度調査等の結果から、ここ数年で着実に浸透している様子が伺えます。

2030年までを達成期間としているSDGsは、国や企業のみならず、市民団体、地域、学校、家庭、そしてわたしたち個人が担い手となることを前提としており、子どもたちも例外ではありません。また、掲げている共通目標の達成に向け「すべての参加者が役割を持ち、誰一人取り残すことなく進めること」を基本理念としているものです。

本計画においても、市民宣言で掲げる理想の「子ども像」を共通の目標として、代議員をはじめとする地域の方々の協力により、市内すべての子どもを対象とする具現化行動が持続されるという点で、SDGsの基本理念に準じていると言えます。

故に、記載している具体的な行動・取り組みへの参画による本計画の着実な遂行は、SDGsのメカニズム及びその達成に向けて必要とされる様々な協力の形「パートナーシップ」を小規模ながら体感することに繋がるものと考えます。

## ○第四次具現化行動計画中の活動について

第三次具現化行動計画期間中、市民会議をはじめとする市内各関係団体が様々な取り組みを引き続き推し進めてきたものの、新型コロナウイルスの感染拡大を受け「3密回避」を主軸とする新しい生活様式の定着が進む中で、青少年に対して直接的に啓発する機会の多くを断念することとなりました。しかし、活動自体が途切れることのないよう、広報部会での機関紙発行による青少年に関する情報の発信や家庭部会での絵画・作文コンクール開催による家庭の健全化促進など、感染拡大防止の動きに歩調を合わせつつも、実施可能なものについては、着実に取り組まれました。

第四次具現化行動計画へ移行後も、目まぐるしく変化する社会情勢に応じた活動が求められることから、コロナ禍を一つの契機と捉え、柔軟性と復元力を併せ持つ長期的な視点に立ち、計画同様、適宜見直しを行いながら、市民宣言の具現化行動を継続していくものとします。

亀山っ子市民宣言の各項目における具現化行動計画

①「おはよう」「ありがとう」のいえる子

■目指すもの



礼儀正しい言葉づかいや、あいさつのできる子どもが増えているという実感がある

■子どもたちに持ってほしい「力」

年代区分	子どもたちに持ってほしい「力」	
	区分	内容
幼児	思いやり	子どもは、思いやりをもって人と接することの大切さを理解している。
児童生徒	誠実さ	子どもは、誠実であることに誇りを持ち、それに基づいて行動している。
	大人との関係	子どもは、家庭・学校・地域社会において、大人とのよい関係を築けている。
	社会的能力	子どもは、他人の気持ちに関心を持ち、よい影響を受け、友達づくりに積極的である。

■求められる環境づくり

年代区分	「亀山っ子」を育むために求められる環境づくり	
	区分	内容
幼児	家族の積極的なコミュニケーション	家庭と子どもは、積極的にコミュニケーションがとれ、互いに気持ちを伝え合っている。
	家族以外の大人との関係	周囲の人たちが、子どもをあたたかく見守っている。
	教育的環境の確立	保育所や幼稚園、家庭などが子どもの成長に適した環境を提供している。
児童生徒	家族の積極的なコミュニケーション	家庭と子どもは、積極的にコミュニケーションがとれ、互いに気持ちを伝え合っている。
	家族以外の大人との関係	周囲の人たちが、子どもが困ったときは助けたり相談に乗ったりして、あたたかく見守っている。
	社会環境の確立	子どもが、人間関係に関心を持ち、友達を思いやり、大人を尊敬できる社会環境の確立に配慮されている。

■具体的な取り組み

持ってほしい「力」	求められる環境づくり	実施主体	部会活動番号	名 称	活動内容
・ 誠実さ ・ 社会的能力	・ 家族以外の大人との関係 ・ 社会環境の確立	市民会議 全体	A-1 B-1 C-2 D-1	サマーキャンプ	①
・ 思いやり ・ 誠実さ ・ 大人との関係 ・ 社会的能力	・ 家族の積極的なコミュニケーション ・ 家族以外の大人との関係 ・ 教育的環境の確立 ・ 学校環境の確立	広報部会	A-1 A-2	広報誌「すくすく」の発行	⑤
・ 思いやり ・ 誠実さ ・ 社会的能力	・ 家族の積極的なコミュニケーション	育成部会	B-1 B-4	親子ふれあい教室	②
・ 思いやり ・ 誠実さ ・ 社会的能力	・ 家族の積極的なコミュニケーション	家庭部会	C-2 C-4	親子ふれあいデー	③
・ 社会的能力	・ 家族以外の大人との関係	非行防止部会	D-1 D-2	街頭啓発活動 イベント時の合同パトロール	⑥ ⑦
・ 社会的能力	・ 家族の積極的なコミュニケーション	関係団体	—	親子フェスティバル	—
・ 誠実さ ・ 社会的能力	・ 家族以外の大人との関係		—	野外体験学習	—
・ 思いやり ・ 社会的能力	・ 家族以外の大人との関係		—	愛の運動	—
・ 思いやり ・ 社会的能力	・ 家族以外の大人との関係		—	あいさつ運動	—
・ 思いやり ・ 大人との関係	・ 教育的環境の確立 ・ 学校環境の確立		—	各校・各園での教育目標	—



## ②きまりや交通ルールを守る子

### ■目指すもの

家庭のルールや交通ルールを守り、規則正しい生活を送っている子どもが増えているという実感がある

### ■子どもたちに持ってほしい「力」

年代区分	子どもたちに持ってほしい「力」	
	区分	内容
幼児	正直さ	子どもは、自分が正しいと思うことを伝えることができる。
	意思決定	子どもが、自分でものごとの正しい選択ができる。
	抵抗する力	子どもは、いやな事はいやとはっきり伝えることができる。
児童生徒	情報機器	子どもは、家族で決めたスマホやゲーム機の使用のきまりを守っている。
	社会的正義と公平	子どもは、公平さや公正さの必要性を理解し、社会のために行動している。
	正直さ	子どもは、自分が正しいと信じることにしたがって意見を述べ行動している。
	責任感	子どもは、責任感を持って行動している。
	抵抗する力	子どもは、誘惑を断ち切り、またそのような人と距離をとることができる。
	健康的なライフスタイル	子どもは、健康的な生活習慣を身に付けている。

### ■求められる環境づくり

年代区分	「亀山っ子」を育むために求められる環境づくり	
	区分	内容
幼児	家族での規範	家庭は明確なルールで行動し、常に子どもの居場所を把握している。
	手本としての大人	家族以外の、子どもの周りにはいる大人が、子どもの手本となるような責任ある行動をとっている。
	良い影響	仲の良い友達同士がお互いの行動の手本となっている。
児童生徒	家族での規範	家庭内に明確で一貫したルールがあり、家族がそれを守ることを意識している。
	地域での規範	地域社会が子ども達の行動に関心を持って見守っており、やってはいけないことなどの規範が示されている。
	手本としての大人	家族以外の、子どもの周りにはいる大人が、子どもの手本となるような責任ある行動をとっている。
	良い影響	仲の良い友達同士がお互いの行動の手本となっている。

■具体的な行動・取組

持ってほしい「力」	求められる環境づくり	実施主体	部会活動番号	名称	活動内容
・ 責任感 ・ 健康的なライフスタイル	・ 地域での規範 ・ 良い影響	市民会議全体	A-1 B-1 C-2 D-1	サマーキャンプ	①
・ 正直さ ・ 意思決定 ・ 責任感	・ 家族での規範	家庭部会	C-1 C-2	明るい家庭づくり 作文コンクール	④
・ 社会的正義と公平 ・ 抵抗する力	・ 地域での規範 ・ 手本としての大人	非行防止部会	D-1 D-2	街頭啓発活動 イベント時の 合同パトロール	⑥ ⑦
・ 責任感	・ 手本としての大人	関係団体	—	各学校における 学習規律の確立	—
・ 社会的正義と公平	・ 地域での規範		—	愛の運動	—
・ 責任感 ・ 健康的なライフスタイル	・ 手本としての大人 ・ 良い影響		—	野外体験学習	—
・ 社会的正義と公平 ・ 抵抗する力	・ 地域での規範 ・ 手本としての大人		—	青パト等による 地域防犯活動	—
・ 正直さ ・ 意思決定 ・ 情報機器	・ 家族での規範 ・ 手本としての大人		—	家庭教育に関する講座	—
・ 正直さ ・ 意思決定 ・ 抵抗する力 ・ 社会的正義と公平	・ 家族での規範 ・ 地域での規範 ・ 手本としての大人		—	幼稚園・保育所 での防犯教育	—



### ③運動や読書に親しむ子

#### ■目指すもの

**運動や読書に親しんでいる子どもが増えているという実感がある**

#### ■子どもたちに持ってほしい「力」

年代区分	子どもたちに持ってほしい「力」	
	区分	内容
幼児	学習する態度	子どもは、好ましい遊びに夢中になって楽しんでいる。
	読書に親しむ	子どもは、読書に親しんでいる。
	運動遊びを楽しむ	子どもは、健康的な運動遊びを楽しんでいる。
児童生徒	やる気	子どもは、学校での勉強をがんばろうと、やる気を出している。
	学習する態度	子どもは、学校での学習に夢中になるだけでなく、学校の外での活動にも参加し、学ぶことを楽しんでいる。
	読書に親しむ	子どもは、週のほとんどの日に読書に親しんでいる。
	運動を楽しむ	子どもは、楽しみながら運動に取り組んでいる。

#### ■求められる環境づくり

年代区分	「亀山っ子」を育むために求められる環境づくり	
	区分	内容
幼児	創造的な活動	子どもが音楽、美術、演劇などの文化的活動に積極的に参加できる配慮がされている。
	子どもへの企画	子どもが保育所・幼稚園や地域での行事やスポーツ活動に参加できる配慮がされている。
児童生徒	高い期待	親や教師が、学校やその他の活動で子どもに精一杯やってほしいと期待している。
	創造的な活動	子どもが音楽、美術、演劇や作文などの文化的活動に積極的に参加できる配慮がされている。
	子どもへの企画	子どもが学校でのクラブ活動や子どものための地域活動に参加できる配慮がされている。
	情報機器との距離感	子どもが家庭で過ごす時間の多くを、スマホやゲーム以外のことをする時間として使っている。

■具体的な行動・取組

持ってほしい「力」	求められる環境づくり	実施主体	部会活動番号	名称	活動内容
・読書に親しむ ・運動を楽しむ	・創造的な活動 ・子どもへの企画	市民会議 全体	A-1 B-1 C-2 D-1	サマーキャンプ	①
・学習する態度 ・読書に親しむ	・創造的な活動 ・高い期待 ・情報機器との距離感	広報部会	A-1 A-2	広報誌『すくすく』の発行	⑤
・やる気 ・学習する態度 ・読書に親しむ	・創造的な活動 ・家庭での時間	家庭部会	C-1 C-2 C-3	親子読書感想画コンクール	④
・やる気 ・学習する態度	・創造的な活動 ・家庭での時間		C-1 C-2 C-3	明るい家庭づくり 作文コンクール	④
・学習する態度 ・読書に親しむ	・創造的な活動 ・家庭での時間	関係団体	—	ブックスタート事業	—
・学習する態度 ・読書に親しむ	・創造的な活動		—	読み聞かせなどの行事	—
・学習する態度 ・読書に親しむ	・創造的な活動		—	読書習慣確立のための啓発活動	—
・運動遊びを楽しむ ・運動を楽しむ	・高い期待 ・子どもへの企画		—	スポーツクラブ活動の実践	—
・やる気 ・学習する態度	・高い期待 ・情報機器との距離感		—	情報機器に関する啓発	—
・運動を楽しむ	・子どもへの企画		—	新スポーツ体験会	—



④力をあわせて仕事をする子

■目指すもの

地域の行事やボランティア活動に積極的に参加している子どもが増えているという実感がある

■子どもたちに持ってほしい「力」

年代区分	子どもたちに持ってほしい「力」	
	区分	内容
幼児	行動意思	子どもが、自分ですべきことを理解し行動ができる。
	所在の実感	子どもは、家庭や地域などで役割があり大切にされていると感じている。
児童生徒	計画性と意思決定	子どもが、自分でものごとの正しい選択ができ、自分から計画的に行動することができる。
	所在の実感	子どもは、家庭や地域などで認められていると感じ、自分の帰属に対して愛着を持っている。

■求められる環境づくり

年代区分	「亀山っ子」を育むために求められる環境づくり	
	区分	内容
幼児	地域の関心	周囲の人たちが、子どもに親身に世話をしてくれる。
	親の教育との関わり	親が積極的に子どもの地域活動や教育現場の支援に関わっている。
	財産としてのこども	地域内、家庭内で子どもに役割が与えられている。
	地域への貢献	子ども達が家族と一緒に地域社会で活躍できる機会が提供されている。
児童生徒	地域の関心	子どもが地域へ関心を持つような経験をさせている。
	親の学校との関わり	親が積極的に子どもの地域活動や学校生活の支援に関わっている。
	財産としてのこども	地域内、家庭内での決定事項に子どもが関わっている。
	地域への貢献	地域社会から子ども達が自発的に地域社会で活躍できる機会が提供されている。

■具体的な行動・取組

持ってほしい「力」	求められる環境づくり	実施主体	部会活動番号	名 称	活動内容
・計画性と意思決定 ・所在の実感	・地域の関心 ・財産としての子ども ・地域への貢献	市民会議 全体	A-1 B-1 C-2 D-1	サマーキャンプ	①
・行動意思 ・所在の実感	・地域の関心 ・財産としての子ども	広報部会	A-1 A-2	広報誌『すくすく』の発行	⑤
・行動意思 ・所在の実感	・地域の関心 ・財産としての子ども ・地域への貢献	育成部会	B-1 B-4	親子ふれあい教室	②
・計画性と意思決定 ・所在の実感	・地域の関心 ・親の教育との関わり ・財産としての子ども ・地域への貢献		B-2	親子フェスティバル	—
・計画性と意思決定 ・所在の実感	・親の教育との関わり ・地域への貢献	家庭部会	C-2 C-4	親子ふれあいデー	③
・計画性と意思決定 ・所在の実感	・地域の関心 ・親の教育との関わり ・財産としての子ども ・地域への貢献	関係団体	—	親子フェスティバル	—
・計画性と意思決定 ・所在の実感	・地域の関心 ・財産としての子ども ・地域への貢献		—	野外体験学習	—
・計画性と意思決定 ・所在の実感	・地域の関心 ・財産としての子ども ・地域への貢献		—	旅籠玉屋宿泊体験学習会	—

⑤人やものを大切にする子

■目指すもの



ものを大事にし、人のために行動できる子どもが増えているという実感がある

■子どもたちに持ってほしい「力」

年代区分	子どもたちに持ってほしい「力」	
	区分	内容
幼児	他者への関心	子どもは、他人の気持ちに関心を持つことができる
	平和的な問題解決	子どもは、暴力的に問題を解決してはいけないことを理解している。
	愛着心	子どもは、自分や他人が使っている道具などへの愛着心がある。
児童生徒	思いやり	子どもは、思いやりをもって他の人を助けることは大事であると考え行動している。
	社会的正義と公平	子どもは、公平さや公平さの必要性を理解し、他者と接することができる。
	人権意識	子どもは、異文化についての知識や理解があり、高い人権意識の中で差別や偏見のない社会を願っている。
	平和的な問題解決	子どもは、暴力的にならずに問題を解決する努力ができる。
	愛着心	子どもは、自分や他人が使っている道具などへの愛着心がある。

■環境づくり

年代区分	「亀山っ子」を育むために求められる環境づくり	
	区分	内容
幼児	家族の支援	家族が日常生活において子どもに愛情を注いでいる
	地域社会における子どもの価値	地域の大人は子どもを大切に思っている。
児童生徒	学校環境	子どもは、人間関係に関心をもち、同級生を思いやり、教師を尊敬している。
	地域社会における子どもの価値	地域の大人は子どもを大切に思っている。
	将来への訓練	子どもが、お金やものを大切に思うことを学ぶ機会が提供されている。
	環境意識	物を大切に扱い、自然環境を大切にする重要性を知る機会が提供されている。

■具体的な行動・取組

持ってほしい「力」	求められる環境づくり	実施主体	部会活動番号	名称	活動内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者への関心</li> <li>・思いやり</li> <li>・平和的な問題解決</li> <li>・愛着心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会における子どもの価値</li> <li>・将来への訓練</li> <li>・環境意識</li> </ul>	市民会議全体	A-1 B-1 C-2 D-1	サマーキャンプ	①
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者への関心</li> <li>・思いやり</li> <li>・愛着心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の支援</li> <li>・地域社会における子どもの価値</li> <li>・環境意識</li> </ul>	広報部会	A-1 A-2	広報誌『すくすく』の発行	⑤
<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやり</li> <li>・社会的正義と公平</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校環境</li> </ul>	関係団体	—	学校における職業的価値観学習の実践	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやり</li> <li>・平和的な問題解決</li> <li>・愛着心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会における子どもの価値</li> <li>・将来への訓練</li> <li>・環境意識</li> </ul>		—	旅籠玉屋宿泊体験学習会	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者への関心</li> <li>・平和的な問題解決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の支援</li> <li>・地域社会における子どもの価値</li> </ul>		—	家庭教育に関する講座	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的正義と公平</li> <li>・人権意識</li> <li>・平和的な問題解決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校環境</li> <li>・環境意識</li> </ul>		—	各学校における学習規律の確立	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権意識</li> <li>・社会的正義と公平</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会における子どもの価値</li> </ul>		—	ヒューマンフェスタ in 亀山	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやり</li> <li>・社会的正義と公平</li> <li>・平和的な問題解決</li> <li>・愛着心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来への訓練</li> <li>・環境意識</li> </ul>		—	カメジョブキッズ	—



## ⑥未来に夢を持ち続ける子

### ■目指すもの

将来の夢について語れる場や、語り合う子どもが増えているという実感がある

### ■子どもたちに持ってほしい「力」

年代区分	子どもたちに持ってほしい「力」	
	区分	内容
幼児	自己肯定感	子どもは、自分のことを大切に思っている。
	将来に対する見方	子どもは、将来の夢や希望を思い描いている。
児童生徒	自己肯定感	子どもは、自分がかけがえのない存在であると思っている。
	目的意識	子どもが、自分の人生の意味を考えて、自分の能力を発揮すべく努力することができる。
	将来に対する見方	子どもは、自分に対して肯定的で、将来の夢や希望を持っている。

### ■求められる環境づくり

年代区分	「亀山っ子」を育むために求められる環境づくり	
	区分	内容
幼児	安全	地域社会から子ども達が家庭、保育所、幼稚園、または地域を安全だと感じるように配慮されている。
	高い期待	親や保育士・教諭が子どもの健やかな成長を応援している。
	家庭での時間	子どもが親と一緒にいる時間を多く取っている。
児童生徒	家庭支援	家族が、子どもに真の愛情をそそいだり支援したりしている。
	地域社会における子どもの価値	地域社会から子どもが地域の大人に必要とされていると感じるように配慮されている。
	安全	地域社会から子ども達が家庭、学校、または地域を安全だと感じるように配慮されている。
	高い期待	親や教師が、学校やその他の活動で子どもに精一杯やってほしいと期待している。
	将来への訓練	子どもが精神的な成長を促すプログラムやサービスに参加できる機会が提供されている。

■具体的な行動・取組

持ってほしい「力」	求められる環境づくり	実施主体	部会 活動番号	名 称	活動 内容
・自己肯定感 ・目的意識 ・将来に対する見方	・地域社会における 子どもの価値 ・高い期待 ・将来への訓練	市民会議 全体	A-1 B-1 C-2 D-1	サマーキャンプ	①
・自己肯定感 ・目的意識 ・将来に対する見方	・家庭支援 ・高い期待	広報部会	A-1 A-2	広報誌『すくすく』の 発行	⑤
・自己肯定感	・家庭での時間 ・家庭支援	育成部会	B-1 B-4	親子ふれあい教室	②
・自己肯定感 ・目的意識 ・将来に対する見方	・高い期待 ・将来への訓練	家庭部会	C-1 C-2 C-3	明るい家庭づくり 作文コンクール	④
・自己肯定感 ・目的意識 ・将来に対する見方	・家庭での時間 ・家庭支援 ・地域社会における 子どもの価値		C-2 C-4	親子ふれあいデー	③
・自己肯定感 ・将来に対する見方	・安全 ・地域社会における 子どもの価値	非行防止 部会	D-1 D-2	街頭啓発活動 イベント時の合同パト ロール	⑥ ⑦
・自己肯定感 ・将来に対する見方	・安全 ・地域社会における 子どもの価値	関係団体	—	愛の運動	—
・自己肯定感 ・将来に対する見方	・家庭での時間 ・家庭支援		—	家庭教育に関する講座	—
・自己肯定感	・安全 ・地域社会における 子どもの価値		—	通学路点検による安全 確保	—
・目的意識 ・将来に対する見方	・高い期待 ・将来への訓練		—	カメジョブキッズ	—
・自己肯定感 ・目的意識 ・将来に対する見方	・家庭での時間 ・地域社会における 子どもの価値 ・高い期待		—	親子フェスティバル	—

## ○市民会議が実施する活動の内容

①	サマーキャンプ	市民宣言の実践のため、鈴鹿峠自然の家において3泊4日で宿泊体験学習を行う。サマーキャンプは、部会、代議員、関係団体の協力のもと、市民宣言を意識し、自然体験や生活体験を通して、異年齢の人たちとの交流の中で子どもたちが成長する契機とする。
②	親子ふれあい教室	親と子が積極的にコミュニケーションを取り合い、共同で取り組むことができる体験活動を実施する。
③	親子ふれあいデー	各小学校区単位で、子どもたちが地域の一員であると認識するとともに、家族以外の大人と触れ合う機会や、様々な体験ができる機会を創出する。
④	親子読書感想画コンクール 明るい家庭づくり作文 コンクール	読書画コンクールでは、親子で読書を行い、感想を話しながら、絵に表わす読書感想画を募集し、読書に親しむ環境を作る。明るい家庭づくり作文コンクールでは、家庭の中の対話や家族のふれあいを通して、実際に取り組んでいることや約束ごと・自分の考えなどを作文として表すよう子どもたちに呼びかける。また、表彰式において青少年健全育成にかかわる講演会の実施を行う。
⑤	広報誌「すくすく」発行	年3回発行し、市民会議の活動や、関係団体の取組などについて、広報を行う。
⑥	街頭啓発活動	非行防止活動強化期間及び子ども若者育成支援強化月間において、市内中学校や駅で青少年健全育成のための街頭啓発活動を行う。
⑦	イベント時の合同パトロール	社会環境の浄化整備を図るため、市内で行われるイベント時に、補導員との合同パトロールを実施する。

## ○計画の期間

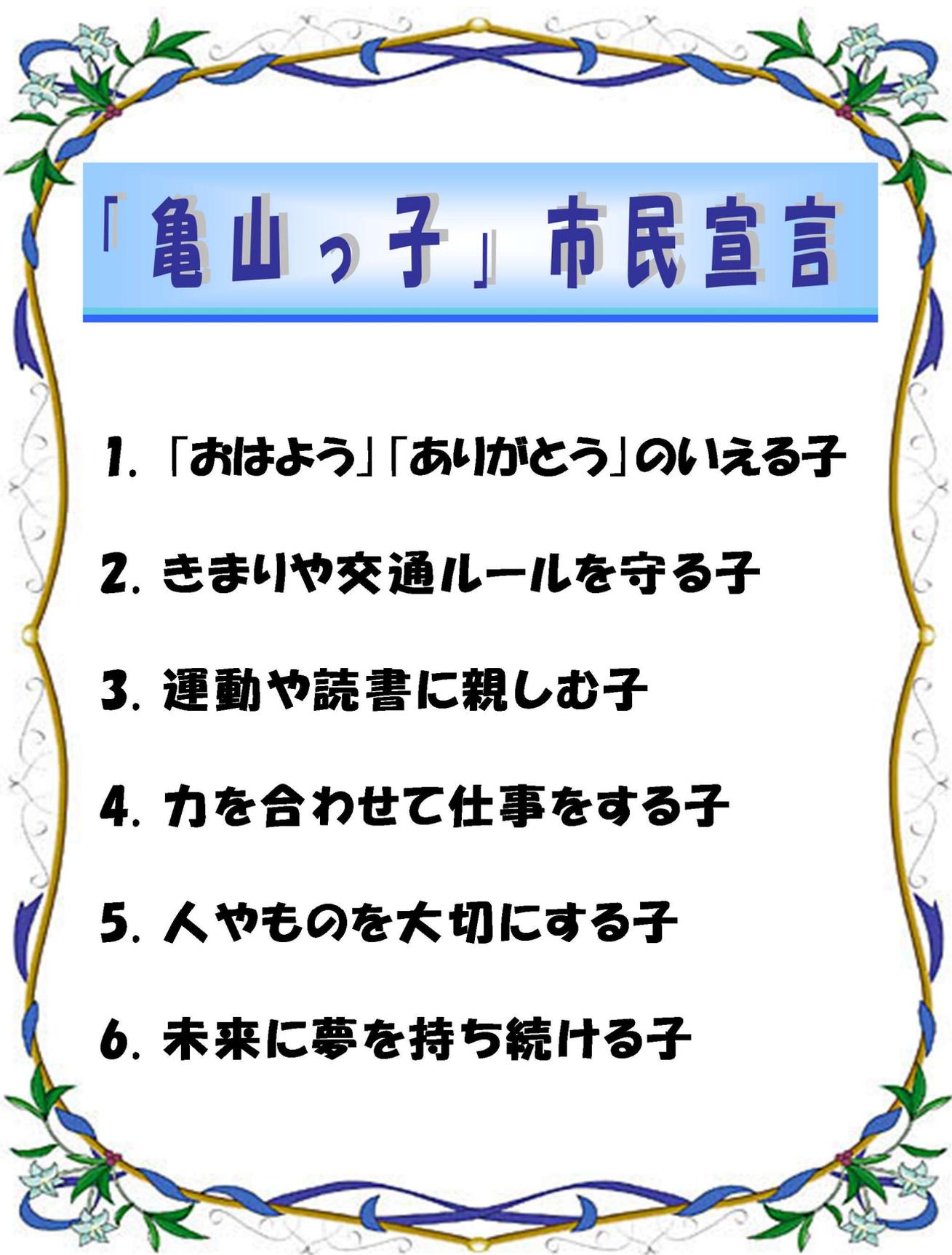
令和4年度から令和6年度の3年間を計画期間とします。ただし、この期間中、新たな課題や社会情勢等の変化に柔軟に対応するため、必要に応じて適宜見直しを行うこととします。

## ○検証方法

市民宣言の各項目に設定された目指すものについて、どの程度の実感が得られているかを5段階評価とし、代議員だけでなく、市内幼・保・認定こども園及び小学校に通う子どもたちの保護者にも年1回調査を行います。

調査結果については、市民会議の総会資料に掲載するほか、次期の具現化行動計画や市民会議が行う各事業の検討資料として活用することとします。





# 「亀山っ子」市民宣言

1. 「おはよう」「ありがとう」のいえる子
2. きまりや交通ルールを守る子
3. 運動や読書に親しむ子
4. 力を合わせて仕事をする子
5. 人やものを大切にする子
6. 未来に夢を持ち続ける子